

第4回サルコペニア・フレイル学会大会 参加報告記

THE 4TH ANNUAL MEETING OF JAPANESE ASSOCIATION ON SARCOPENIA AND FRAILTY

会 期：2017年10月14日～15日
会 場：同志社大学今出川校地寒梅館
大会長：石井 好二郎

上島 順子¹ NTT 東日本関東病院栄養部

第4回サルコペニア・フレイル学会大会（大会長＝同志社大学・石井好二郎先生）は、「京から発信 新たなサルコペニア・フレイル研究」というテーマで、京都御所の北側に位置する同志社大学の今出川校地寒梅館で2017年10月14～15日の2日間にわたり開催されました。本大会より研究会から学会化されており、記念すべき大会となりました。記念大会に相応しく753名と多くの方が参加され大盛況となりました。

サルコペニア診療ガイドラインについてのシンポジウム（座長＝国立長寿医療研究センター・荒井秀典先生、名古屋大学・葛谷雅文先生）から第4回学会はスタートしました。「サルコペニアの定義・診断・疫学」（東京大学・小川純人先生）について、「サルコペニア診療ガイドライン第2章：サルコペニアの疫学」（名古屋学芸大学・下方浩史先生）について、「サルコペニア診療ガイドライン—治療—」（東京都健康長寿医療センター・金 憲経先生）についてそれぞれ発表がなされました。会場からは、サルコペニアの診断基準に対する意見や、疾患ベースのサルコペニアに応用が難しい点について意見交換がなされました。まだま

だエビデンス不足の領域であるため、会員がエビデンスを発信することが必要であると繰り返し言われていました。「サルコペニア診療ガイドライン」は、2017年12月25日に発刊されました。世界初のサルコペニアに関する診療ガイドラインです。是非多くの方に手に取っていただき、日々の診療の手引きとしていただければと思います。

その後は、「いまなぜオーラルフレイルが重要な



学会会場の同志社大学今出川校地寒梅館（京都市）

¹ Junko Ueshima
〒141-8625 東京都品川区東五反田 5-9-22
E-mail: junko.ueshima@east.ntt.co.jp

[COI] 報告すべきCOIはない。